



鍋山隆弘 (Takahiro NABEYAMA) 剣道教士八段

筑波大学体育系准教授、筑波大学剣道部男子監督。
全日本剣道選手権大会 10 回出場、世界剣道選手権大会出場 2 回。

剣道では古来から「一眼二足三胆四力」とも言われているように、目の次に足の重要性を説いています。足捌きを入れて、距離を測りながら動くことができれば、相手との駆け引きも有利になってきます。ただ、足捌きを練習するにも、通常の体育館は床が硬くて膝を痛めてしまったり、滑り止めが効きすぎて水脹れなどの怪我をしてしまう場合があります。剣道においては、ある程度の滑りがあり、クッション性がある床が良い。つまり国産の木材を使用した剣道専用の床で稽古するのがベストです。海外の方も是非日本製の剣道場床で、剣道をやっていただきたいですね。



中村孝則 (Takanori NAKAMURA) 剣道教士七段

コラムニスト。元剣道国体東京都強化選手。大日本茶道学会茶道教授。

15 年ほど前に、試合中にアキレス腱を断絶したことがあります。その時の体育館がウレタン塗装で、滑り止めが効きすぎていた事が原因だと思っています。もし、ちゃんとした剣道場であつたら、こうはならなかったのかもしれない。私の得意技は遠間から踏み込む大きな「面」なので、床の踏み込みやすさが非常に大切になってきます。国産の木材と熟練の製材技術で作られた剣道場は、抜群に踏み込みやすい。音もまるで能舞台のように響きます。踏み込みやすさと音、両方で心地よさを感じながら稽古ができます。



Christopher YANG 剣道教士七段

北米トヨタ自動車の Group Vice President、
北米トヨタコネクテッドのExecutive Vice President。
世界剣道選手権大会7大会連続で出場、団体戦二位(2回)・三位(3回)・
個人戦ベスト8(2回)・敢闘賞(7回)

剣道場の床は、剣士とその環境をつなぐ最も重要なものの一つである。パフォーマンス、スピード、敏捷性、強さ、安全性は、すべて剣士が稽古する床の質によって決まる。生死が一瞬で決まる勝負の世界では、床の重要性を決して見落としてはならないし、忘れてはならない。

株式会社 五感

東京都江東区新木場 1-6-13 木のくに屋ビル 4F

Tel : 03-3522-4169

Fax : 03-3522-4170

E-mail : info@kendoujou.com

受付時間 : 9 時 ~ 18 時 (毎週水曜定休)

<https://kendoujou.com/>



WEB



Facebook



剣道場

床建築工房



剣道場床

本物の床で剣道を

質 技 匠

日本産の良質な木材を厳選して使用

剣道床を作る上で最も大切なのは素材。国土の67%が森林である日本には、木材に精通した職人が多く存在します。日本の木こり達が年月をかけて丁寧に育て上げた良質な木材を厳選。さらに木材の中心部の赤みのみを使用。きめ細かく、そして節の少ない素材は、足への負担を軽減し、剣道の上達を早めます。

薄さ0.05ミリを削り取る、職人の鉋技術

日本の職人に古くから伝わる鉋（かんな）技術。特別な道具「鉋」を使用して、木材の表面を非常に薄く削り取り、剣道に最適な、吸い付くような踏み心地を実現。体育館のウレタン塗装床などで起こりがちな肉離れや捻挫、足裏の水膨れ等を大幅に軽減。本物の剣道床は、日本伝統の技術により成り立っているのです。

剣士にとって最高の剣道場床たる所以

剣士の踏込足は、床に対して大人だと700kg～1tの荷重が加わります。国際特許出願中の剣道場専用ゴムクッションによる衝撃吸収構造により、剣士の足腰にも優しい剣道場床に仕上げています。アメリカで行った体験会では97%の方にすり足がしやすいとの評価をいただいています。良質な日本の木材、職人の技術、独自の衝撃吸収構造、この3つが揃わなければ最高の剣道床は完成しないのです。



三菱マテリアル（香川）



JPロジスティクス（東京）



日本体育大学桜華高等学校(東京)



弘武館 松澤道場(群馬)



信州上田未来塾(長野)



城北学園剣道場(東京)



佐野日大高等学校武道館(栃木)



日章学園(宮崎)



李蹊館(福岡)



松武館 北守剣道場(千葉)



矢板中央高校剣道場(栃木)



関東学院大学(神奈川)